

◆副会長/小口 泰幸 ◆幹事/川村総一郎

◆司会=五味武嗣 SAA

◆ゲストビジター=本日はいらっしゃいません。

◆出席報告

本日	59.18%	20名欠席
前回訂正	71.4%	14名欠席

◆ラッキーナンバー=No.36 花岡 秀則君

◆ニコニコボックス=●加藤明博君・川村総一郎君=本日のクラブフォーラムは、新入会員卓話です。笠原会員、よろしくお祈りします。●花岡秀則君・宮坂康弘君=アクト合同例会への皆さまのご協力ありがとうございました。●玉本広人君=ローターアクトでもお世話になっています長男祥大の結婚式を26日に古屋会員にお力添えいただき、盛大にフェリススクールさんで行うことができました。●古屋了君=玉本会員のご長男祥大君の結婚式のお手伝いをさせていただきました。おめでとうございます。●五味武嗣君=経産省から「DXセクション」企業に選定指定いただきました。●山崎晃君=いつもありがとうございます。●花岡秀則君=ラッキーナンバーに当たって。

◆会長告知・加藤明博君=今日は大丈夫だよ。についてお話をしたいと思います。企業のトップは、いついかなる時も社員に対してうちの会社は大丈夫だよ。何があろうとも皆の仕事とお給料は守られるよ、といった安心感を常に持たせなければならない立場にあります。これは私だけではなく今の私の話を聞いてくれている皆さんも同じだと思います。しかしながら半半はコロナの影響で3期連続赤字決算となり、今期こそ何とかしなければと思っています。会社のトップと言うのは本当に孤独だなと思います。そんな時に一片の詩を読む機会があったので、朗読させていただきます。

周りの人をガッカリさせないように大丈夫なふりをした。弱い姿を見せたくなくて、大丈夫なふりをした。ひとりぼっちになりそうで大丈夫なふりをした。悲しみを受け入れたくなくて、大丈夫なふりをした。倒れてしまったら、もう二度と立ち上がれないような気がして、心の痛みに気づかないふりをした。心のよりどころがない人はよく大丈夫なふりをする。自分が倒れても、抱き起こしてくれる人なんていないと思うから。つらくても、つらくなくないかのように。悲しくても悲しくないかのように。大変でも大変じゃないかのように。そして自分で自分を苦しめる。考えすぎるのを辞められず、他の人に至らない姿を見せないように頑張り続ける。一見辛い事などなさそうに見えて、何だっとうまくやり遂げられそうに、大丈夫そうに見えるのに、心は大丈夫ではないことが多い。一生懸命頑張っているのに、いくら必死に生きても幸せを感じられないとき、私たちは不安になる。どこを目指して生きれば良いのか。解らなくなってしまうから。道に迷ってしまったような気持ちで、どうすれば幸せになれるのかわからない。不安の中で、虚しさと孤独さに出会う。大丈夫なふりをしてしまう人には、支えとなる場所が必要だ。誰かが自分の心を認めてくれるだけで、大きな助けになる。力を抜いて、ありのままの自分の

姿で休めるようになる。あなたがあらゆる瞬間を本当はひどく傷ついているにかかわらず、何でもないようなふりをして生きてきたとしたら、きっと凄く辛かっただろう。今は遠くにある未来のことを心配しすぎないで。大丈夫雨はいずれやむ。明日になれば待ち望んでいた花が咲くだろう。

私はこの詩を十何回も読んで心が癒やされました。

◆幹事報告・川村総一郎君=①本日の例会はクラブフォーラム新会員卓話です。笠原会員のちほどよろしくお祈りします。②ニコニコボックスについてお願いがあります。本年度、コロナ禍対応の例会ということもありますが、ニコニコボックスが非常に低迷しております。例会も通常に戻っておりますので、家族や仕事等でうれしいことがあったら、ぜひニコニコボックスの提出をお願いします。用紙は各テーブルに置くようにします。

◆会計報告・増田哲君=2022年の12月、諏訪ロータリークラブの半期の決算報告をさせていただきます。まず、収入の部ですが、収入合計の予算が1563万7000円に対して、決算額が1510万0749円ということで、予算に対し、マイナス53万6251円となりました。要因は会費の予算額は年間で1100万円取っておりますが、今回半期ということなので決算が588万円ということで、こちらが540万円の下ぶれとなりました。半期なのでこれは当然のことですが、ここでマイナス540万円になっておりますが、一方で、前年度からの繰越金が488万円、トータルすると、53万円の乖離ということになっております。

支出の部ですが、予算額が1491万1065円に対し、決算額が608万4394円で、882万円ほど支出額の抑制になりました。要因は、RI分担金、地区分担金、全国関係は記載の通りでして、予算費、大きな変更はありません。決算期、半期の6カ月の進捗ペースということになっておりますが、一方でクラブ活動費とクラブ運営費がコロナ禍の影響によりまして、各種活動ができなかったことで、支出が減少しました。予算対比で大きな乖離がある主なものとしましては、親睦クラブ親善委員会が161万円ほどの乖離があり、もう1つはクラブ運営費の例会費。こちらが340万円ほどの乖離ということになっております。

この結果、次年度、次期の繰越金は予算の72万5935円に対して、901万6355円というかなり大きな繰越金が残っている状況です。奉仕活動は、記載の通りですので、割愛させていただきます。いずれにしても半年経過したところで、半年間の順調なペースで、準行ペースで来ているということで、判断していいかなと思います。会計報告は以上です。

◆クラブ親善親睦委員長・平林正光君=4月21日に諏訪湖クラブとの合同お花見例会を計画しました。締め切りが4月6日となっております。大勢の皆さんに出席いただきますようよろしくお願いいたします。年々花の咲き具合が早まっておりまして、何のお花見にしようかって、今非常に悩んでいるところでもあります。何かいいお知恵がございましたら、ぜひ教えていただけるようよろしくお願いいたします。

◆クラブフォーラム会員卓話・笠原正司君＝皆さんこんにちは。新入会員の笠原正司と申します。よろしくお願ひいたします。現在、母と祖母、妻と長女と暮らしております。平成10年に東京経済大学の経営学部経営学科に入学しました。太田信男さんが大先輩でして、「大学の名を汚さないようにしっかりやれ」と言われております。三井物産系のマーケティングリサーチをするような会社に入りまして、マーケティングリサーチや世論調査とかを7年間やっておりました。



弊社は株式会社山田製作所と申します。元々は諏訪市豊田にありました。10年ほど前、富士見町に工場を移し、現在に至っております。「何を作っているのですか」って言われますが、消防用の結合器具や筒先を作っています。今日は実物を持ってきました。これは消防隊が使うホースになります。ここから水が出てくるようなものになります。こういったものを製作しています。

父も実はロータリアンで、皆さんと一緒にいろいろやらせていただきました。父が亡くなったのが2月24日ですけど、遺品を整理してましたら、手帳と60周年の記念誌と写真が出てまいりました。それに書いてあったことを少し発表させてもらいます。

父は2009年1月に入会をさせていただきました。2012年度小口武男会員の時の副幹事、2013年朝倉会員の時の幹事をやらせていただきました。父のノートには職業奉仕が重要だということがたくさん書いてありました。父が考える職業奉仕は何なのかなと思いを巡らせたのですが、倫理感を基本にした真面目に働くことによる社会貢献をすごくこだわって書いてありました。

黄綬褒章をいただいた時に、お祝いをしていただけたという話になりましたが、父は「自分が普通に働いた結果、社会に少し役立ったことを報償されたので、別に祝う会はしていただくなくて結構です」というような話をしていました。そしたら、ロータリアンの三沢清司先生がこうおっしゃったんです。「あなただけが表彰されたのではない。あなたの周りで勤勉に働いていた人たちが職業奉仕をして、社会に貢献したんだから。その人たちの分も自分を含めて、みんなで祝いしよう」という話になりました。結局、ロータリーでお世話になった皆さんですとか、地域でお世話になった方々ですとか、会社の社員さんに来ていただいて、お祝いをさせていただきました。

父は、ロータリーのノートを全部取ってありました。それに毎回書いてあった文章をそのまま紹介させていただきます。「創業以来3代、地域社会にお世話になり、現在に至っております。このことに変感謝し、今後とも消防・防災資機材の製造・販売・開発に企業一丸となって取り組み、努力することにより、社業を発展させ、会社の安心、安全につなげていきたいと思っております。社業を通じてお世話にな

った地域、社会の方々に微力でもお返しすることで、地域社会の発展に寄与していきたいと考えております」と書いてありました。おそらくロータリークラブのいろんな中でも、職業奉仕をもっとも大事にしていたと思えました。

当初の経営理念は、消防資機材の製造・販売・開発に組織一丸となって努力することにより、社会の安心、安全に寄与するというのを、社是としてやっています。背景は、阪神淡路大震災です。各地から来た消防隊の消防ホースの規格が違って結合できなかったことがありました。これが批判されたことから規格を見直し、JIS規格に戻すことをしてきました。

今消防に関わる問題点としては、3点挙げられます。1つは少子高齢化です。まず、消防職員、消防をやっている人たち自体も高齢化しています。建物の高層化や構造の複雑化でホースの展張の難易度も上がっています。放水時にホースが不意に外れてしまう事故も急増しているため、金具が不意に離脱することを防止することで消防隊の安全を担保する金具を開発、製造、販売しています。2つ目は、未曾有の火災とか、未曾有のという災害が非常に増えています。その辺への対応として、大容量放水・排水システム用ホースに取り付ける金具の開発、製造、販売をしています。3つ目は環境やSDGsへの対応です。材料や素材、切削工程の見直しにより、廃棄物、資源の有効活用で持続可能な社会に貢献しています。

最後、まとめです。私もロータリーに入会させていただいて、これから活動をしていきたいと思っておりますけども、この職業を通じて父の思いではないですけども、社会の安心、安全に寄与するような仕事を通じて職業奉仕ということで、こういうことにつなげていきたいと思っております。まとまりのない話で、お耳汚しで申し訳なかったのですが以上で終わりたいと思います。ご清聴いただきまして、ありがとうございました。

◆今後の例会日程

4/7(金)	クラブフォーラム (三井会員卓話)
4/14(金)	クラブフォーラム (早川会員卓話)
4/21(金)	諏訪湖RCとの合同花見例会